

【問題 1】 1 型糖尿病について、正しいものを 2 つ選べ。

- a. 発症後 1~2 ヶ月を経てインスリン依存状態となるものを緩徐進行 1 型糖尿病という。
- b. GAD 抗体が陰性であれば、1 型糖尿病を否定できる。
- c. 1 型糖尿病の発症は思春期にピークがあり、60 歳以上で発症することはほとんどない。
- d. 発病早期の寛解期(蜜月期間)とは、インスリン治療が一時不要となる時期を指す。
- e. 1 型糖尿病の遺伝因子としては HLA の関与が大きく、日本人では DR4、DR9 が疾患感受性を示す。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 2】 2 型糖尿病について、正しいものを 2 つ選べ。

- a. わが国の糖尿病患者の 80% を占める。
- b. 糖尿病ケトアシドーシスを発症することはない。
- c. 遺伝的素因に、加齢・過食・運動不足・肥満などの環境因子が加わって発症する。
- d. 75g ブドウ糖負荷試験はすべての 2 型糖尿病患者の初診時において施行されるべき検査である。
- e. 高血糖そのものによりインスリン分泌不全とインスリン抵抗性を助長することをブドウ糖毒性という。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 3】 その他の特定の機序・疾患による糖尿病について、正しいものを 2 つ選べ。

- a. ミトコンドリア糖尿病は日本人糖尿病患者の約 5% に認められる。
- b. 肝硬変にともなう糖尿病では、食後血糖値の上昇が特徴である。
- c. 慢性膵炎に伴う糖尿病はインスリン分泌が枯渇すると 1 型糖尿病に分類される。
- d. クッシング症候群による糖尿病は肥満・高血圧・脂質異常を伴うことが多い。
- e. その他の特定の機序・疾患による糖尿病には、経口糖尿病薬は使用できない。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 4】インスリン・インクレチンについて、正しいものを2つ選べ。

- a. インスリンの作用により、肝臓での糖新生が抑制される。
- b. インスリンは脂肪組織においては脂肪を分解する作用を有する。
- c. 経口ブドウ糖負荷試験の際、血糖と血中インスリンを同時に測定すればインスリン分泌能を評価することができる。
- d. インクレチンである GLP-1 と GIP は、膵臓から分泌されるホルモンである。
- e. インクレチンは、ジペプチジルペプチダーゼ-4 (DPP-4)によって合成・活性化される。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 5】インスリン感受性・抵抗性について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 低強度の運動であっても長期間継続することにより、低下しているインスリン感受性を改善できる。
- b. インスリン抵抗性があると HDL コレステロールが増加する。
- c. 加齢・ロコモティブシンドローム・筋肉量減少により、インスリン抵抗性が増悪する。
- d. 発熱を伴うときはインスリン抵抗性が減弱し低血糖が生じやすいため、SMBG を頻回に行う必要がある。
- e. ステロイド投与によりインスリン抵抗性が増悪する。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 6】糖尿病の診断の手順について間違っているものを1つ選べ。

- 1. 受診当日の随時血糖値が 223mg/dL で、HbA1c が 8.1%だったので糖尿病と診断した。
- 2. 受診当日の空腹時血糖値は 132mg/dL で、HbA1c は 6.3%だった。翌月の HbA1c が 6.5%だったので、糖尿病と診断した。
- 3. 受診当日持参の診療情報提供書では HbA1c は 6.6%だった。翌月の HbA1c が 7.2%だったので、糖尿病と診断した。
- 4. 受診当日の随時血糖値が 245mg/dL であり、口渇と多飲、多尿を訴えていたので、糖尿病と診断した。
- 5. 受診当日の 75g 糖負荷試験で前値 116mg/dL、2 時間値 222mg/dL であり、翌週の随時血糖値が 233mg/dl であったので糖尿病と診断した。

【問題 7】血糖コントロールの指標について正しいものを2つ選べ。

- a. HbA1c は過去 1~2 カ月の平均血糖値を反映する。
- b. グリコアルブミン (GA) は、過去 2 週間の平均血糖値を反映する。
- c. 血中 1,5-AG (アンヒドログルシトール) は過去 1 カ月の血糖変動や食後血糖を反映する。
- d. 合併症予防のための HbA1c の目標は 6.0%未満である。
- e. 尿ケトン体が陽性の場合には糖尿病性腎症を疑い検査を進める。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 8】糖尿病の血糖自己測定について正しいものを2つ選べ。

- a. 妊娠糖尿病では、インスリン治療を行っていない場合は保険適用とはならない。
- b. 連続グルコースモニタリングは、保険適用に際し施設基準はない。
- c. 機種によっては在宅酸素治療を受けている患者では血糖値に影響する。
- d. 簡易血糖測定器はヘマトクリットの影響は受けない。
- e. 採血量が不足すると実際より血糖が低値になる。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 9】自己管理指標の記録と活用について、間違っているものを1つ選べ。

- 1. グラフや図などは視覚的な成果が示されるため、学習の動機づけになる。
- 2. 血糖値や食事量・運動量の記載は、自己管理行動へのフィードバックになる。
- 3. 患者の自己評価とともに 簡単な質問表を作成し患者と一緒に確認する。
- 4. 糖尿病連携手帳は、日本糖尿病学会が無料で配布している。
- 5. 糖尿病連携手帳には歯周病に関して記載できる箇所がある。

【問題 10】糖尿病合併症の検査について正しいものを2つ選べ

- a. 頸動脈エコーは毎月行う必要がある。
- b. アルブミン尿が認められなくても、糖尿病があり推定糸球体濾過量 (eGFR) が $30\text{mL}/\text{min}/1.73\text{m}^2$ 未満であれば糖尿病腎症第 4 期である。
- c. 網膜症がなければ、その後の定期的眼底検査は必要ない。
- d. 下腿—上腕血圧比 (ABI) は末梢動脈性疾患の検出に有用である。
- e. 安静時心電図が正常で症状がなければ冠動脈疾患は否定できる。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 11】糖尿病大血管症について正しいものを2つ選べ

- a. 冠動脈病変は複数枝かつ複数箇所に出現することが多い。
- b. 糖尿病患者の動脈硬化性疾患は、女性の発症率が男性と近似する。
- c. わが国の糖尿病患者における死亡原因の第一位は虚血性心疾患である。
- d. 糖尿病患者の脳血管障害では脳出血が脳梗塞よりも多い。
- e. 糖尿病の場合喫煙は動脈硬化の危険因子とはならない。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 12】糖尿病神経障害の診断と治療について間違っているものを2つ選べ。

- a. 顔面神経麻痺、動眼神経麻痺、外転神経麻痺などの単神経障害は糖尿病の中でも重症例に発症し予後は悪い。
- b. 心電図 R-R 間隔変動係数は、副交感神経機能を反映する。
- c. 感覚・運動神経障害のある人は足が冷えやすいため、あんかななどの保温機具の使用を勧める。
- d. 有痛性神経障害では不眠や抑うつ状態をとまなうことも多い。
- e. 利尿薬の過剰投与や、過度の食塩制限は起立性低血圧症を起こしやすくする。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 13】糖尿病眼合併症の診断と治療について正しいものを2つ選べ。

- a. 糖尿病網膜症では早期から視力が低下する。
- b. 毎年の職場健診や住民健診を受けていれば、眼科医による定期的な眼底検査は必要ない。
- c. 血糖コントロール不良の場合、網膜症の発症・増悪防止のためできるだけ速やかに血糖を下げて正常化を目指す必要がある。
- d. 汎網膜光凝固療法は増殖前期から増殖期が良い適応である。
- e. 単純網膜症に黄斑症を合併すると視力が低下する。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 14】視力障害者への援助について間違っているものを1つ選べ。

- 1. 40歳～64歳の重症糖尿病網膜症患者は、介護保険サービスの利用が可能である。
- 2. 視力障害が重症化すれば身体障害者手帳の申請が出来る。
- 3. 家族に目隠し状況を体験させるなど家族への教育も必要である。
- 4. 危険なので床においてあったものをそっと整理してあげた。
- 5. 拡大鏡、拡大コピー、サインペンの使用なども検討する。

【問題 15】糖尿病腎症について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 尿中アルブミン 30~299mg/g クレアチニンは第2期(早期腎症期)に分類される。
- b. 顕性腎症では蛋白尿は持続的に陽性となる。
- c. 降圧薬はCa拮抗薬が第一選択薬として使用される。
- d. 腎症の食事療法は食塩制限、たんぱく質制限が基本であり、進行するとカリウム、水分制限も必要となる
- e. 蛋白尿が増え低アルブミン血症が出現すれば、たんぱく質制限を中止する必要がある。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 16】糖尿病の合併症に対する療養指導について間違っているものを2つ選べ。

- a. 足白癬や癩・癬などは軽微であっても早く担当医師や看護師に伝えるよう指導する。
- b. 歯周病は動脈硬化性疾患の誘因となる可能性も指摘されているため、患者には歯のブラッシングと定期的な歯科検診をすすめる。
- c. 尿路感染症は糖尿病患者の感染症の中で最も頻度が高い。
- d. 2型糖尿病ではインスリン欠乏状態ではないため、1型糖尿病と違い骨折のリスクは高くない。
- e. NASH(非アルコール性脂肪肝炎)は肝硬変や肝がんへの進行はほとんどない。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 17】メタボリックシンドロームについて、正しいものを2つ選べ。

- a. 脂質代謝異常の基準値はLDLコレステロール値 120mg/dL以上または中性脂肪 150mg/dL以上である。
- b. 空腹時血糖値で 100~125mg/dL を保健指導判定値、それ以上を受診勧奨判定値とする。
- c. ウエスト周囲長は吸気時に腹部最大周囲径の部位で測定する。
- d. 血圧の基準値は収縮期 130mmHg または拡張期 85mmHg 以上である。
- e. 腹部皮下脂肪の蓄積を基礎として危険因子が重複することによって動脈硬化性疾患の発症が増加するとした概念である。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 18】 糖尿病患者における血圧、脂質の管理について、正しいものを2つ選べ。

- a. (総コレステロール値)－(HDL コレステロール値)で算出される non HDL コレステロール値 150mg/dL 未満を目標に管理する。
- b. 降圧目標は HOT Studyなどを参考に 130/80mmHg 未満に設定されている。
- c. 高血圧が合併している場合には食塩摂取量 9g/日未満を目標に指導する。
- d. HDL コレステロール値 50 mg/dL 以上を目標に管理する。
- e. 喫煙は血圧の上昇をきたすが、脂質代謝には影響をおよぼす事はない。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 19】フットケアについて正しい組み合わせを1つ選べ

- a. 糖尿病合併症管理料の算定は、フットケアを行った患者すべてが対象になる。
- b. 患者自身が自分の足に関心を持ち、見て、触ることが大切である。
- c. 足病変がある場合でも、血糖コントロールの改善が重要であるため積極的に運動するように勧める。
- d. 夕方になると足がむくむことがあるので、靴はなるべく午後に選ぶと良い。
- e. 糖尿病合併症管理料は、CDE(LCDE や CDEJ)であれば、糖尿病重症化予防(フットケア)の「適切な研修」を受けていなくても算定できる。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 20】糖尿病のEBM(Evidence based medicine)について、以下の文で間違っているものを1つ選べ。

- 1. 糖尿病患者では膵癌・肝癌・前立腺癌が健常者に比して有意に多い。
- 2. 妊娠糖尿病における児の奇形は高血糖が主な原因であり、妊娠 8 週までに奇形の有無は決定される。
- 3. UKPDS は、英国の新規発症 2 型糖尿病患者を対象とした研究である。
- 4. ACCORD 研究では、通常療法群に比べ強化療法群で総死亡のリスクが増加したために介入試験は中止となった。
- 5. 久山町研究において、食後高血糖と認知症発症リスクの関連が示された。

【問題 21】糖尿病の治療目標について、正しいものを2つ選べ。

- a. 大血管症の発症・進展を予防する観点からは、空腹時血糖値の管理だけでなく食後血糖値の管理も重要である。
- b. 糖尿病患者の LDL コレステロールは 140mg/dL 未満を目標にする。
- c. 体重は BMI 22kg/m²を標準とし、肥満の程度に応じて個々に目標を設定する。
- d. 細小血管合併症の発症・進展を予防する観点から HbA1c は一律 6.0%未満を目指す。
- e. 高齢者で中等度以上の認知症を有する場合、合併症の発症・進展の抑制のため HbA1c 7.0%未満にする必要がある。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 22】糖尿病治療方針の立て方について、正しいものを2つ選べ。

- a. 2型糖尿病ではいずれの症例でもまず DPP-4 阻害薬から開始する。
- b. 1型糖尿病では血糖変動が大きくなりやすいので、すべての患者に応用カーボカウントの指導を行う。
- c. 糖尿病腎症が進行すると血糖値が上昇しやすくなるので、インスリンの使用量が増加する。
- d. 妊娠糖尿病例では妊娠末期になるとインスリン抵抗性がより増大し、血糖値は上昇しやすくなる。
- e. 2型糖尿病患者の治療は、年齢、罹病期間、肥満度、内因性インスリン分泌能などをもとにして決定される。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 23】糖尿病食事療法の目的と検査値異常との関連について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 高血糖の是正が困難な場合は、炭水化物の占めるエネルギー比率を 40%未満にすることが望ましい。
- b. 高コレステロール血症の場合、コレステロールを多く含む食品を 500mg/日未満に控える。
- c. 高血圧合併症例や腎症 3 期以降の症例では、食塩摂取量を 6g/日未満とする。
- d. 糖尿病合併症予防のためにビタミン、ミネラル、食物繊維の適正な摂取は大切である。
- e. 食事療法の第一の目的は健常者同様の日常生活を営むのに必要な栄養素を摂取することである。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 24】糖尿病食事療法の基礎知識について、間違っているものを2つ選べ。

- a. デスクワークが多い職業など軽労作の場合、1日のエネルギー摂取量の目安は25～30 kcal/kg 標準体重である。
- b. 極端な糖質制限食は、長期的には腎症や動脈硬化の進行などが懸念される。
- c. 3大栄養素の比率は炭水化物 40～50%、蛋白質 20%エネルギー以下とし、残りを脂質で摂取する。
- d. 合併症予防のため食物繊維摂取量は20g/日以上を目標とする。
- e. 食塩摂取量は男性 10g/日未満、女性 8g/日未満を目標とする。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 25】食品交換表を用いた指導について、間違っているものを1つ選べ。

1. 同じ表の食品であれば同じ単位数同士で交換できる。
2. 1600kcal/日(炭水化物 55%)の場合、表1から11単位摂取する。
3. 表5の食品は1日量を1回の食事ですべて摂っても良い。
4. 食品の選択にあたっては、グリセミックインデックスも参考にする。
5. 「カーボカウント」は炭水化物から食物繊維を除いた糖質をカウントしている。

【問題 26】食品交換表の内容で正しいものを1つ選べ。

1. ご飯 100g と食パン 30g とうどん 80g は表1の1単位である。
2. 1単位中に食塩1g以上を含む食品はマークがつけてある。
3. かぼちゃ、里芋、じゃがいもは表6に分類される。
4. 表2の果物には缶詰めや干し果物も含まれる。
5. 表3はたんぱく質が主体なので多めに食べても問題ない。

【問題27】アルコール飲料、間食、補食について正しいものを2つ選べ。

- a. アルコールの摂取は直接的に血糖値を上昇させるため、糖尿病治療上好ましくない。
- b. 運動の途中で低血糖になったときは、クッキーやおにぎりなどを摂取する。
- c. 間食に適した食品は果物や牛乳である。
- d. 主治医が認めた場合は1～2単位以内の飲酒を許可し、表1の食品との交換を指導する。
- e. 糖質0.5g未満であれば無糖の表示ができる。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 28】外食、中食、不規則な食事等の指導について、正しいもの 2 つ選べ。

- a. 指示単位より控え目に食事を済ませている場合には、特に問題はない。
- b. どうしても調理が不得意な場合でも、テイクアウト食品のアレンジを勧める事はしない。
- c. 栄養成分のナトリウム(mg)を塩分(g)に換算するには 2.0 をかけて 1000 で割る。
- d. 外食・中食では表 1 と表 5 の食品が多く、表 6 が少ない。
- e. 外食・中食には、油、砂糖、みりん、塩、醤油などが多く使用され、濃厚な味付けである。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 29】肥満者の生活指導について間違っているものを 2 つ選べ

- a. 減量速度は、1 ヶ月 2kg 以内が目標であることを伝える。
- b. 減量のためには、少なくとも摂取エネルギーの約 20%を運動で消費する。
- c. 体重の経過や食行動を記録するように指導する。
- d. 体重 1kg の増減は、2000~3000kcal のエネルギーの蓄積・消費に相当する。
- e. 外来で減量指導を実施する場合の食事摂取量は、1 日 1200Kcal 以上とする。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 30】肥満症の治療について間違っているものを 1 つ選べ。

- 1. 肥満の外科手術は BMI 35 以上で適応となる。
- 2. 外科手術による減量は、従来の方法による減量に比べてリバウンドが少ない。
- 3. DPP-4 阻害薬は SGLT2 阻害薬よりも強い体重減少作用を有する。
- 4. 内臓脂肪は皮下脂肪よりも燃焼しやすい。
- 5. 肥満者の場合、現在の体重の約 5%の減量で生活習慣病改善効果が得られる。

【問題 31】糖尿病腎症の食事療法について間違っているものを 2 つ選べ。

- a. 顕性腎症期では尿中アルブミン排泄量は 300mg/g クレアチニン以上になる。
- b. 蛋白制限食は、血清アルブミンを低下させる。
- c. 第 4 期では 25~35kcal/kg/日にエネルギーを設定する。
- d. 第 1~3 期はカリウム制限の必要はない。
- e. 透析が開始されると、水分やカリウム制限は厳しくなるがたんぱく質制限は軽減される。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 32】糖尿病患者の病態に応じた食事療法について間違っているものを2つ選べ。

- a. 高中性脂肪血症では、禁酒やショ糖・果糖制限が重要である。
- b. n-3系の魚油は動脈硬化抑制作用がある。
- c. 脂質摂取比率は15~20%とする。
- d. 表3、表6から食べ始めゆっくり時間をかけて食べる事は、食後血糖値を下げるのに有用である。
- e. 食物繊維の摂取は食後血糖値を改善するが、脂質異常症の改善には寄与しない。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 33】糖尿病の運動療法の意義と適応について、間違っているものを2つ選べ。

- a. 顕性腎症期で1g/日以上 of 蛋白尿を認めた場合、ADLの維持程度の運動にとどめる。
- b. 空腹時血糖300mg/dL以上の場合、尿ケトン陰性であれば運動療法の適応となる。
- c. 運動後十数時間での低血糖の発現に注意する必要がある。
- d. 運動療法の効果は約1日で消失する。
- e. 日常生活全体の身体活動量の増加は、2型糖尿病の発症予防につながる。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 34】糖尿病の運動療法の指導について、間違っているものを2つ選べ。

- a. インスリン治療中の患者には食後の運動を指導する。
- b. 多忙で運動する時間が取れない場合、日常生活の様々な活動(買い物、家事、通勤など)を増やすことは有意義である。
- c. 自発的運動強度の15~17の強さを指導する。
- d. 運動による血糖改善効果を高めるため、運動を行う日のインスリン注射は大腿部を避けて行うことが望ましい。
- e. 高齢者は筋力・筋量が低下しているため、レジスタンス運動は避けることが望ましい。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 35】経口血糖降下薬の効果と適応について、間違っているものを1つ選べ。

- 1. 一部のスルホニル尿素(SU)薬には瞬外作用(インスリン抵抗性改善)が認められる。
- 2. 速効型インスリン分泌促進(グリニド)薬は、食後高血糖を改善する目的で使用する。
- 3. ビグアナイド薬は、高齢の2型糖尿病が最も良い適応である。
- 4. SGLT2阻害薬は、腎機能低下患者では糸球体濾過量が低下しているため効果が減弱する。
- 5. DPP-4阻害薬は、単独では低血糖の可能性は少ない。

【問題 36】経口糖尿病薬の副作用について、間違っているものを2つ選べ。

- a. SU 剤の最も多い副作用は、肝障害である。
- b. α -グルコシダーゼ阻害(α -GI)は、腹部膨満、放屁などの副作用が多い。
- c. DPP-4 阻害薬の使用に際して、腎機能を特に注意する必要はない。
- d. 心不全が現在あるいは過去に認められる症例にはチアゾリジン薬を投与しない。
- e. SGLT-2 阻害薬使用時には、脱水や糖尿病ケトアシドーシスの発現に注意する。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 37】インクレチン関連薬について、間違っているものを2つ選べ。

- a. DPP-4 阻害薬は血糖依存的にインスリン分泌を促進しグルカゴン分泌を抑制する。
- b. DPP-4 阻害薬は食前、食後いずれの投与も可能である。
- c. SU 薬と DPP-4 阻薬との併用で重症低血糖が起こる可能性がある。
- d. GLP-1 受容体作動薬は食後血糖値を低下させるが、空腹時血糖値は低下させない。
- e. GLP-1 受容体作動薬を使用中の患者には、血糖自己測定は保険適応とならない。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 38】インスリン療法について、正しいものを2つ選べ。

- a. 2型糖尿病では、随時血糖値 350mg/dl 以上に限り使用する事ができる。
- b. 超速効型インスリンは、皮下注射後 10~20 分で作用が発現し、30 分~1.5 時間でその効果はピークとなる。
- c. 持効型溶解インスリンは、皮下注射後約 10 時間まで血糖降下作用が持続する。
- d. インスリン皮下注射は、腹壁、上腕、臀部、大腿の順に吸収が早い。
- e. 入浴や運動はインスリンの吸収を遅らせる。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 39】インスリンと経口糖尿病薬・GLP-1 製剤の併用について間違っているものを2つ選べ。

- a. 経口血糖降下薬に1日1回持効型インスリンを追加投与する BOT 療法が最近広く行われるようになった。
- b. GLP-1 受容体作動薬は注射薬であるためインスリンと併用することはできない。
- c. DPP-4 阻害薬にはインスリンと併用できる薬剤が多い。
- d. ビグアナイド薬をインスリンと併用することにより体重増加のリスクが増える。
- e. SGLT2 阻害薬をインスリンと併用することにより低血糖のリスクが増える。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題 40】インスリン注射の指導における注意点や、インスリン製剤の取り扱いについて間違っているものを2つ選べ。

- a. 使用済み注射針は、蓋のついた缶や瓶などに入れて、外来受診時に持参して医療機関で廃棄するよう指導する。
- b. 脂肪組織萎縮あるいは硬結などを予防するため、2~3 cmずつずらして注射する。
- c. インスリン製剤の保管には、遮光は必要ない。
- d. 混合型インスリン製剤を初めて使用するときは、水平にした手のひらで素早く転がして混和する操作が必要である。
- e. 開封した使用中のインスリン製剤はできる限り冷蔵庫の中で保存する。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 41】インスリン量の調整について、間違っているものを2つ選べ。

- a. CSIIにおいてポーラスウィザード機能では患者個々の糖質/インスリン比を設定しておく、血糖値と糖質に応じた追加インスリン量を推定することが可能である。
- b. 持続点滴静注の際には中間型インスリンの輸液内混注が可能であり、血糖値を指標に混注量を調整する。
- c. インスリン療法の場合でも食事・運動療法など基本的治療をおろそかにしないことを指導する。
- d. 就寝前の血糖値が低い際には就寝前の中間型ないしは持効型インスリンは中止することを指導する。
- e. 十分な教育を受けた強化インスリン療法中の患者は、食前の血糖値に応じて(超)速効型インスリン量を調整することができる。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 42】低血糖の原因と症状について、正しいものを2つ選べ。

- a. β 遮断薬、抗不整脈、フィブラート製剤やサリチル酸製剤内服時には血糖低下作用が増強されることもあり、十分な指導を行う。
- b. 血糖値が 70mg/dl 以下になると中枢神経症状が、50mg/dl 以下になると交感神経症状が出現する。
- c. 腹部の硬結を避けたインスリン注射を指導した際には低血糖への注意が必要である。
- d. SU薬やアルコールが関与した低血糖は短時間で回復し、遷延・再発は少ない。
- e. 血糖値が測定できない場合にはブドウ糖の投与など低血糖に対する処置を行うべきではない。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 43】低血糖の予防と治療について、正しいものを2つ選べ。

- a. アルコール飲料はカロリーが高く、飲用中には低血糖は出現しにくい。
- b. α -グルコシダーゼ阻害薬服用時の低血糖治療には、ブドウ糖よりも砂糖を服用させる。
- c. 意識障害を伴う低血糖の患者では、誤嚥や窒息の恐れがあるので、食べ物を無理に口の中に入れられない。
- d. 糖尿病性腎症が進行し、腎機能が低下すると低血糖を生じにくくなる。
- e. グルカゴンを筋肉内注射すると10分以内に低血糖症状の改善が期待できる。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 44】糖尿病の急性合併症について、正しいを2つ選べ。

- a. 糖尿病ケトアシドーシスでは、痙攣や振戦などの神経症状が特徴である。
- b. 糖尿病ケトアシドーシスでは重炭酸の補充が必須である。
- c. 2型糖尿病患者では糖尿病ケトアシドーシスを生じる事はない。
- d. 高血糖高浸透圧症候群は、2型糖尿病で高齢者に多く、誘因は感染症、高カロリー輸液などである。
- e. 高血糖高浸透圧症候群では、糖尿病ケトアシドーシスよりも予後不良である。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題 45】シックデイの対応について間違っているものを1つ選べ。

- 1. ビグアナイド薬は、シックデイの際には乳酸アシドーシスのリスクが高まるので中止とする。
- 2. 38°C以上の発熱や350mg/dl以上の高血糖が続く場合は医療機関を受診する。
- 3. 経口薬治療中の患者で食事が摂れない時は、食事摂取量に応じて薬の量を減量・中止する。
- 4. 1型糖尿病患者においては、食事が摂れないときには低血糖回避のため基礎インスリンを中止すべきである。
- 5. SGLT2阻害薬はケトーシスをきたしやすくSU薬やインスリンとの併用で低血糖を生じやすいため、シックデイの際には中止する。

【問題 46】糖尿病と歯周病について、間違っているものを1つ選べ。

1. 歯周病の主たる原因は歯肉や歯周ポケット内の歯垢中に存在する細菌である。
2. 唾液分泌量の低下や唾液中のブドウ糖濃度の上昇は歯周病の増悪因子となる。
3. 抜歯が必要な場合、健常人とリスクは変わらないため血糖が高くても可能である。
4. しっかりとした血糖管理とブラッシングで口腔内を清潔に保ち、よい状態を維持することが重要である。
5. 歯周病は心筋梗塞などの動脈硬化性疾患や感染性心内膜炎の誘因となる可能性が指摘されている。

【問題47】ライフステージ別の療養指導について、間違っているものを2つ選べ。

- a. サルコペニア、フレイルを伴う高齢者の血圧管理において、過度の降圧に伴う転倒・骨折に注意を払う。
- b. 思春期は血糖コントロールが不安定になりやすいので、個人の意思より医師の治療方針を優先するように指導する。
- c. 日本では糖尿病患者を労働者として、その権利を守る法律はない。
- d. 学童期に肥満を伴う場合は、標準体重に対するエネルギー必要量の80%に調整する。
- e. 1型糖尿病を発症した子供の親の心理的適応は、ショック、否認、悲しみ・怒り・不安、適応、人生再構築という過程を経ていく。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題48】妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠について正しいものを2つ選べ。

- a. 妊娠糖尿病とは妊娠前に見逃されていた糖尿病と定義される。
- b. 妊娠初期および妊娠24～28週の時点で、随時血糖110mg/dL 以上の場合には75gOGTTを行う。
- c. 血糖コントロールが不良の場合、妊娠中に母体の網膜症の出現・進行を認める。
- d. 母体の高血糖は新生児高血糖、黄疸、高Ca血症などを起こしやすい。
- e. 妊娠糖尿病の母体から出生した児では将来肥満や糖代謝異常を伴うリスクが高い。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題49】糖尿病合併妊婦の管理について正しいものを2つ選べ。

- a. HbA1c 7.0%未満が妊娠を許容できる目安となる。
- b. 最大インスリン需要量は2型糖尿病妊婦では非妊娠時の約1.2倍となる
- c. 1日の総エネルギー量を3回の食事と3～4回の間食に分けて食べる。
- d. 肥満妊婦の食事エネルギー量は標準体重×35kcalに付加量を加える。
- e. 朝食前血糖70～100mg/dL,食後2時間血糖値140mg/dL 未満を目標とする。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題50】一般的な保健指導について、間違っているものを1つ選べ。

1. 海外旅行の際は、「英語で書いた糖尿病カード」を携帯する。
2. 海外旅行で飛行機を利用するとき、インスリンは手荷物とする。
3. ニコチン依存症治療での禁煙補助薬ニコチンパッチやバレニクリン(チャンピックス)は健康保険の適応である。
4. 海外旅行前には、時差に合わせたインスリンと食事を計画する。
5. 海外旅行の際、手荷物検査場においてインスリンポンプは身に着けたまま検査を通過できる。

【問題51】糖尿病患者のセルフケアについて間違っているものを2つ選べ。

- a. 自分で行動し達成できたという成功体験の累積は自己効力感を高める情報である。
- b. 生活習慣の大きい変更を伴う治療法の実行度は低い。
- c. 医療者が提供する情動的サポートは、セルフケア行動には影響しない。
- d. セルフケア行動に影響する心理・社会的要因の中で、ヘルスビリーフは内的要因である。
- e. HbA1c や血糖値をもとに、セルフケア行動の実行を促す。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題52】糖尿病と診断されているが、食事療法はしていない患者がいる。始めようかと考えはじめたが、まだ迷っている状態である。食事療法の変化ステージはどの状態か、1つ選べ。

1. 前熟考期
2. 熟考期
3. 準備期
4. 行動期
5. 維持期

【問題53】エンパワメントアプローチについて、間違っているものを1つ選べ。

1. 糖尿病療養指導において、患者自身が意思決定できるようにかかわる。
2. 患者が自己管理できるように必要な情報を提供する。
3. 患者が血糖値の改善に向けて努力できるように支援することを主な目的とする。
4. 行動計画を立てる際は、効果のありそうな具体的方法について質問をする。
5. 行動の結果を評価する際は、医療者からもフィードバックする。

【問題54】糖尿病教育入院について、正しいものを2つ選べ。

- a. 糖尿病教室を受講することが必須である。
- b. 教育入院を自己決定できたことを強みと捉え、できなかったことが反省できるような支援が望まれる。
- c. 患者の個別性は重要ではない。
- d. 患者同士の仲間作りの機会となり、患者間での相互作用が期待できる。
- e. 治療変更時の入院では、治療効果を実感してもらうだけでなく、食事の見直しもできる良い機会となる。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題55】頑張れなくなった2型糖尿病患者の心理行動面へのアプローチ方法について間違っているものを2つ選べ。

- a. 患者の声に耳を傾け、意欲や努力、これまでの成果など、人生と一緒に振り返り、患者に応じた励ますポイントをさがす。
- b. 良好な血糖コントロールのメリットを強調し、方針を決めるように進言する。
- c. どうなりたいのか、どんなことならできるのか、どんなサポートが必要か、一緒に考えてもらう。
- d. 自分が見えるように、頻回のモニタリングやフィードバックを促す。
- e. 心理的に困難な場合、立ち止まって、感情に着目し、喜怒哀楽を十二分に表出させる。

1)a,c 2)b,d 3)c,e 4)a,b 5)d,e

【問題56】調理実習の目標と評価について、間違っているものを1つ選べ。

1. 調理実習を行うことで、普段の味付けや食べ方(食べる順番)を見直す機会となる。
2. 食品交換表に表示してある数値と調理後の重量変化を知るためにも実際に計量する。
3. 写真による食事記録をもとにタンパク質や糖質の正確な量が算出できる。
4. 調理実習をした内容を栄養計算することは、重要な評価方法の一つである。
5. 調理実習の体験は、過去の自己管理行動の評価となり目標設定にも役立つ。

【問題57】糖尿病自己管理教育について正しいものを2つ選べ。

- a. 集団教育は、必要な情報を効率的に提供でき、参加者の人数や特性に影響を受けない。
- b. 個人指導は、患者の状況を考慮する必要があり、専門的な知識や能力が必要になる。
- c. 糖尿病教育において、多くの詳しい知識を一度に伝える必要がある。
- d. 患者同士の交流は、精神的な支えや自己管理への動機付けなどの効果がある。
- e. インターネットやDVDなどでの情報提供は、認知行動療法に最適である。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題58】地域療養指導士の意義と役割について間違っているものを1つ選べ。

- 1. 糖尿病療養指導の質的向上をめざし、自己研鑽する。
- 2. 医師が示した糖尿病に関する治療方針を患者に正しく伝える。
- 3. 患者の自己管理を支援できるような糖尿病チームを作り、漏れのない教育を行う。
- 4. 患者が自己管理困難な場合は、治療方針を変更する。
- 5. 社会活動は地域療養指導士の重要な役割である。

【問題59】糖尿病の疫学について間違っているものを2つ選べ。

- a. 平成24年の調査では、男性の21.8%、女性の27.3%が糖尿病かその予備軍である。
- b. 成人の失明原因の第1位が糖尿病網膜症である。
- c. 糖尿病神経障害は糖尿病の慢性合併症として最も多い。
- d. 糖尿病患者の全癌罹患リスクは約1.2倍に増加する。
- e. 透析導入の原疾患は糖尿病が1位で、平成26年には約15,000人が新規導入となった。

1) a,c 2) b,d 3) c,e 4) a,b 5) d,e

【問題60】日本糖尿病協会について間違っているものはどれか。

- 1. 日本糖尿病協会は糖尿病の知識の普及啓発、療養指導、調査研究などを行う
- 2. 友の会は患者さん及び家族の方・医療スタッフを含めて10名以上で構成される。
- 3. 日本糖尿病協会は、2013年4月1日から公益社団法人となった。
- 4. 11月14日の「世界糖尿病デー」には、シンボルマークをブルーの輪として、全世界での糖尿病抑制に向けたキャンペーンを行う
- 5. 専門性の高い「糖尿病療養指導のためのDM Ensemble」を発行している。